

クリスマスストーリー 小説

【大まかな流れ】

夢の中では、付き合ってますが、
現実世界では、付き合ってません(両片思い)

1番、2番は幸せな夢の中の出来事で
最後、現実世界で会い、告白され、ハッピーエンドです←

【設定】

主人公(視点) 夜音(よと) 夢(18)現実(26)
普段は元気でツンデレ
相手の呼び方は京くん

彼 京(きょう) 夢(18)現実(20)
愛情表現たくさんしてくれる優男
相手の呼び方は夜音

【1番】 帰り道 カラオケ

台詞「」

空想 ()

---放課後---

夜音「テスト終わったー！！」
京「今回難しかったね」
夜音「ほんと難しかったー！
テスト終わったしどっか行こー！」
京「そうだね笑テスト期間忙しかったし」
夜音「どこ、いこっか！」
京「ん～、なにしたいかにもよるかも」
夜音「じゃあカラオケ寄ろ～！」
京「うん、いいよ」

---inカラオケ---

夜音「〜〜〜♪(歌歌ってる感じ)」

京「(歌うまいなあ)」

夜音「ふう」

京「凄い上手だったよ」

夜音「そんなことはないし、、！」

京「そう？僕からしたら上手だったけどね」

夜音「ちょ！京君！！！」

【2番】クリスマスデート 夢の中

夜音「いらっしゃーい！」

京「お邪魔します。サンタのコスプレ、似合ってる」

夜音「に、似合ってはないだろうけど、あ、ありがとう」

京「似合ってるからもっと自信持ってもいいのに笑」

夜音「え、、て、てか！京くんにもコスプレ用意したんだよ！ちょっと待っててね！」

京「え、なにになに？怖いんだけど笑」

夜音「じゃじゃーん！トナカイカチューシャだよ！」

京「カチューシャねよかった、」

夜音「よかったってどういうこと！笑」

京「なんかもっとやばいのかと、、笑」

夜音「そんなことしないよ！！！」

京「んふふ、じゃあ着けてみるね」

夜音「どうぞ！！っえ！とっても似合ってる！」

京「そう？ありがとう！」

夜音「かっこいいからなんでも似合う、ずるい」

京「夜音もにあってる、可愛いよ」

夜音「ずるい！！！！！」

【イントロ？～ラスサビまで】

＜メール

「」言葉

夜音「っはあ、、夢か、、」

ちょっと、寒いなあ

夜音「会いたくなっちゃったなあ、」

今何してるかな、」

京<ねえ夜音>

夜音<どうしたの？>

京<今どこにいる？>

夜音<家にいるよ>

京<今から行くから外に出れる格好しといて>

夜音「どういうこと、？」

京「来ちゃった」

夜音「えっ？ちよっ、」

京「よし、いくか！」

夜音「わっ！ちよ！」

京「ふう、人が多いね」

夜音「多いけどどこ行くの」

京「ついたよ」

夜音「イルミネーション綺麗、」

京「月、綺麗だよ」

夜音「イルミネーションじゃないの？」

京「うん」

夜音「どういう意味？」

京「好きってことだよ」

夜音「え、それって」

京「返事は～？」

夜音「やっぱ。ずるい

私も、好き」